

# ヘルスツーリズム研究会 講演内容まとめ

## — 特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構 —

(発表日 第4回研究会 2006年5月17日)

### 1. 講演タイトル: 添乗員教育プログラムについて

### 2. 所属機関および発表者名: 日本渡航医学会 理事 大越 裕文

### 3. 講演概要 ※記述はフォントサイズ (MS P明朝・11サイズ/50文字×30行以内、「である」調) でお願ひします。

近年、本邦における海外渡航者数は急速に増加してきているが、旅行に伴う健康リスクとその対策の重要性は、未だ十分に理解されるにいたっていない。トラベルメディスンは、旅行者の健康リスクを低くすることを目的とした医学分野であり、ヘルスツーリズムの推進にも欠かせない要素であることは、すでに本研究会において紹介をした。今後、トラベルメディスンを国内に普及させることは日本渡航医学会の重要な課題と考え、2005年9月1日、学会内に教育普及委員会を設置し、医療職ならびに非医療職に対する教育プログラムを作成することとなった。最初に、旅行中に急病人の対応する機会が多い添乗員を対象としたプログラムを作成した。

#### 非医療職トラベルメディスン教育プログラム

- 1、教育普及委員会の設置:委員は、日本渡航医学会の理事を中心に構成されており、全ての教育プログラムは、教育普及委員会にて協議・決定した。プログラム作成に際しては、より実践的な内容になるように、現役の添乗員のヒヤリングも行った。
- 2、テキストブックの作成:教育が均質に行えるように、講習会などで使用できるテキストブックを作成した。ファーストエイドに関する部分は、渡航中に携帯できるサイズで別冊として作成した。なお、テキストブックだけ購入することも可能である。<http://www.jtb.co.jp/healthtourism/topics/book.asp>
- 3、教育コース
  - (ア) ベーシックコース:4時間の講習会形式で、教育内容は旅行者の健康リスク・事前に確認する情報海外での病院受診方法、航空機内で起こる病気旅行先での環境変化による病気、感染症国内旅行における病気旅行中のファーストエイド等が含まれている。
  - (イ) アドバンスコース:特に注意を要する旅行者の講義、ケーススタディ、AED使用方法を含むファーストエイド教育を予定している。

#### 講習会(ベーシックコース)のアンケート調査結果

2006年3月15日、添乗員を対象とした講習会(ベーシックコース)を開催した。当日行った参加者37名へのアンケート調査の結果、参加者全員が役に立ったという評価であった。参加者より、講習時間の延長、特にファーストエイドの時間を増やしてほしいとの要望があった。また、80%以上の参加者が現在企画中のアドバンスコースへの参加を希望した。

#### 受講者数(2007.3.22現在)

2006年3月15日より2007年2月28日まで、東京、福岡、名古屋、大阪、札幌、仙台において、計541名の添乗員が講習会を受講した。

今後、さらに、トラベルメディスンを普及させるためには、添乗員のみならず、旅行業の関係者あるいは学生に講習会なども企画する予定である。